

# 理事会議事録

日 時：2002年6月29日（土） 11時05分～17時10分

場 所：国立天文台（三鷹） 講義室

出席者：田原，松田，郷田，大石，立松，上野，大橋，茂山，松元，吉田，山内 以上11名

欠席者：唐牛，松原，加藤，黒田 以上4名

有効委任状提出者：加藤，黒田 以上2名

他に，東條事務長が参加した。

議事に先立ち，署名人を選出した

議 長：田原博人

署名人：郷田直輝，大石雅寿

## 報 告

1. 前回議事録の確認（資料1）

郷田理事より前回（2002年3月28日）の理事会議事録が報告され，原案通り承認された。

2. 2002年秋季年会について

山内理事が準備状況について報告を行った。宮崎市内から会場までの移動のための臨時バスを出してもらうことは可能なので，宮崎交通に多くの参加者がバスを利用する可能性があること伝えることとした。また，茂山理事から以下の報告があった。講演申し込み数は591件で，口頭発表用会場は7つとなった。企画セッションの準備も順調に進んでいる。

3. IAUアジア太平洋地域会議について

上野理事が報告を行った。事前登録数だけで約500名であり，当日登録を含めると600名ほどの参加者が見込まれる。集録の著作権については天文学会が所有する方向で調整を行っている。

## 議 題

1. 新入会員の承認（資料2）

2002年3月29日から6月28日までの間の新入会員リストを郷田理事が紹介し，70名の正会員，16名の準会員及び1団体の団体会員の入会が承認された。また退会会員，移籍会員等の報告も行われた。

2. 2003～2004年度役員候補名簿について（資料3）

2003～2004年度天文学会役員（理事長，副理事長，理事，監事）候補，及び，選挙管理委員の名簿を郷田理事が報告した。原案通り承認し，次回の評議員会に諮ることとした。

3. 2003～2004年度各委員会委員候補名簿について（資料4）

2003～2004年度の学会各委員会委員候補の名簿を郷田理事が報告した。原案通り決定し，次回の評議員会と秋季総会で報告することとした。

4. 2003年度事業計画書案について（資料5）

2003年度事業計画書案を郷田理事が説明し，質疑応答の後一部修正の上承認し，次回評議員会に諮ることとした。

5. 2003年度収支予算案について（資料6）

2003年度収支予算案を立松理事が説明した。IAU記念基金は2002年度に廃止となるため，2003年度特別会計には掲載していない。早川基金については，予算書上は支出額を増やさないが，選考委員会に「柔軟に対応することを要請する」ことを確認した。その他質疑応答の後原案通り承認し，次回評議員会に諮ることとした。

6. 評議員選挙施行細則の改訂案（資料7）

評議員総数を20名に削減することに伴い必要となった評議員選挙施行細則の改訂案を郷田理事が説明した。質疑応答の後，一部を修正の上承認された。

7. 非会員の年会登録料について（資料8）

立松理事が資料に基づき検討状況の報告を行った。議論の後，非会員の参加費，講演登録料，追加講演料を5000円とすることを決定し，2003年春季年会から適用することとした。尚，本決定を次回の評議員会及び秋季年会で報告することとした。

8. 学会創立百周年記念出版事業について（資料9）

郷田理事から以下の説明があった。ごとう書房の社長が亡くなり，出版費用を寄付するのでお金がなくなるまで主として大学院生向けの専門書の出版を天文学会に行って欲しいとの打診があった。5月の実務理事会での結果天文学会創立100周年記念出版を行うことを検討した。同時に「天文学会創立100周年記念出版事業小委員会に関する内規(案)」の提示があった。天文学全体の近年の研究成果を網羅した内容が良いのではないかとの議論があり，この線に沿って当面理事会でどのような内容，巻構成，各巻の編集者にするのかを検討することし，庶務理事，月報理事，教育理事が協力して10月の理事会までにたたき台を作成することとなった。また理事会が検討している間，小委員会は設置しないこととした。

9. 新賞（天文普及賞）などについて（資料10）

郷田理事が資料に基づき，実務理事会での議論の結果，研究奨励賞選考委員会から提案があった新賞については実行が困難であるとの結論に至ったとの報告があり，理事会としても承認した。研究奨励賞の改定に関し，人数を若干名に増やすが一人あたりの賞金額を減らすという方法について検討した。検討の結果，授賞者数を若干名（上限は3名）に増員すること，及び，選考の際には学位取得直後のよい研究成果にも着目することを選考委員会に通知することを決定した。また，総会における記念講演は取りやめ，天文月報に授賞対象研究内容を書いた記事を必ず掲載するよう受賞者に依頼することとした。

PASJ論文賞の推薦については自薦も可とすることとした。以上の決定事項を実行するため，研究奨励賞内規と欧文報告論文賞内規の一部変更を行う必要がある。従って，変更案を次回の評議員会に諮ることとした。以前からの検討課題となっていた天文普及賞（仮称）の新設について，実務理事会で一般財政が厳しいことを考慮してはどうか，天文普及を職業とする人をどのように扱うのか，研究者による天文普及活動を顕彰してはどうかなどの意見が出されたことを踏まえて議論を行ったが明確な結論は得られず，賞の制定は見送ることとした。

10. 企画セッション（コンピーナー制）講演者の講演料について（資料11）

茂山理事が資料に基づいて説明を行った。コンピーナーが依頼した基調講演者に関して，会員は講演一つ分は追加講演料免除，非会員は基本登録料免除，いずれの場合も企画セッションでの講演は通常の口頭発表aとは数えないとの提案を行った。意見交換の結果，コンピーナーが依頼した「非会員」による基調講演に限り基本登録料，講演料は免除することとし，会員の講演料ノついては通常の扱いとすること，また，コンピーナーには招待する非会員は4名程度を上限とするよう依頼することとした。

11. 年会特別セッション（ALMA，独立法人化）の共催について

天文研連からALMAおよび国立大学・大学共同利用機関の独立法人化に関する特別セッションを今秋の年会中に開催したいとの申し入れがあったことを郷田理事が紹介した。検討の結果天文学会との共催で開催することを決定した。

12. 秋季通常総会議題案について（資料12）

秋季総会の議題案を郷田理事が提示し，原案通り承認した。

13. その他

(1) 電力線搬送通信（PLC）に対する懸念について（資料13）

大石理事からPLCによる有害干渉によって短波帯を用いた電波天文観測ができなくなることを防止するため，PLC導入に対する反対表明を学会として行うことの提案があった。反対することを承認し，意見書としては天文学への影響を強調するよう修正して総務省に提出することとした。また学会Webにも掲載することとした。

(2) 民間の賞・研究助成について（資料14）

古在氏からの意見を郷田理事が紹介した。また東條事務長が，学会として推薦する賞・研究助成等のリストを説明した。意見交換を行い，学会のWebに情報を載せることとした。

(3) 名簿の有料化については，見送ることとした。

(4) 林忠四郎賞選考委員会の委員長を「互選」で決めるという現在の内規では最初の委員会の開催に支障があるとの指摘が郷田理事よりあった。今後の円滑な委員会開催のため，庶務理事・事務室が委員に連絡を取ることを確認した。

(5) 秋季年会への旅費補助申し込みが100名を越えているため，学術交流費の残額を勘案しつつ補助額を決めたいということを立て立松理事が報告した。これに関し，申込者が増加しているにも関わらず賛助会員費が減っているため，旅費補助の考え方を見直すべきであるとの意見が出され，議論を行った。補助の考え方について会員（学生）に周知するよう努力することとした。また，残額（繰越額）の約半分は今回の補助に支出するということも決定した。

(6) 「男女共同参画についての学協会連絡会」立ち上げのよびかけが，日本応用物理学会，日本化学会，日本物理学会会長の連名であった。天文学会もこれに参加することとし，加藤理事を担当者として推薦することにした。

(7) 年会での記者会見トピックスは自薦も受け付けることとし，茂山理事が募集案をTENNETに流すこととした。

(8) 次回理事会は10月7日(月)に開催することを決定した。

2002年8月1日

議 長 田原博人 印

署名人 郷田直輝 印

署名人 大石雅寿 印